

製品安全データシート

整理番号 : jcam-5063
改定日 : 2018年8月7日

1 製品及び会社情報

製品名	; くみあい水稻用エムコート S 100H入り複合600
別名	; エムコート600
会社名	; 全国農業協同組合連合会
担当部署	; 肥料農薬部
住所	; 〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル33F
電話番号	; 03-6271-8285
FAX番号	; 03-5218-2536
e-mail	; zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡先	; 03-6271-8285

推奨用用途及び使用上の制限; 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないでください。

2 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	可燃性固体	区分外
	自然発火性固体	区分外
	酸化性固体	区分外
	金属腐食性物質	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	目に対する重篤な損傷	分類できない
	/目刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない

製品安全データシート

整理番号 : jcam-5063
改定日 : 2018年8月7日

環境に対する有害性	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

GHS ラベル要素

絵表示	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	
【安全対策】	粉じんを吸入しないこと。 換気の良い場所で使用すること。
【救急処置】	気分が悪い時は、医師に連絡すること。
【保管】	容器を密閉して保管すること。 可燃物から離して保管すること。
【廃棄】	内容物・容器を国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

主成分	含有量 (%)	化学式	官庁公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
硫酸アンモニウム	10 以下	(NH ₄) ₂ SO ₄	1-400	7783-20-2
リン酸二アンモニウム	10-20	(NH ₄) ₂ HPO ₄	1-379	7783-28-0
塩化カリウム	10-20	KCl	1-228	7447-40-7
尿素	20-30	CO(NH ₂) ₂	2-1732	57-13-6
樹脂組成物*	10 以下	—	—	—
くみあい良質米穂肥専用肥料048号	40-50	化成肥料(10-4-8-4)	—	—
シリカヒューム	1 以下	SiO ₂	—	69012-64-2

*樹脂組成物 : ポリオレフィン系樹脂・その他

労働安全衛生法に基づく、名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
なし

化学物質排出把握管理促進法に基づく対象物質

製品安全データシート

整理番号 : jcam-5063
改定日 : 2018年8月7日

なし

4 応急措置

吸入した場合

分解ガスや粉塵の場合は、新鮮な空気の場所に移し安静にさせ、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

水で洗い流す。

眼に入った場合

1. 直ちに多量の清水で洗眼する。

2. 必要に応じ医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

意識があるときには、飲んだものを吐き出させ、必要に応じて医師の診断を受ける。

5 火災時の措置

消火剤

多量の水

火災時の危険有害性

加熱されると有害ガス（アンモニアガス等）を発生する。

特定の消火方法

本製品は不燃性であるが、加熱されると有害ガスを発生するので、保管場所を移動する。

消火を行う者の保護

移動が困難な時は、多量の水を注水する。

消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。

状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護マスク等を着用し、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。可燃性物質に着火した場合に備えて、消火機材を準備する。

環境に対する注意事項

排水溝へ流さない。

除去方法

掃き集めて回収する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 必要に応じて適切な保護具を着用し、取扱い後は顔、手、口等を水洗いする。
- 強アルカリ性資材、燃料その他の可燃性物質との直接混合は避ける。
- 床にこぼれた粒で足元が滑り、転倒する事があるので、掃除する。
- 容器は破損につながらないよう丁寧に取り扱う。

保管

適切な保管条件

- 開封のまま長期間放置すると、吸湿して固結の原因となるので、開封後は密封して保管する。
- 直射日光を避け、高温・多湿下での保管は避ける。
- 可燃性物質との近接は避ける。

安全な容器包装材料

ポリエチレン、ポリプロピレン

製品安全データシート

整理番号 : jcam-5063
改定日 : 2018年8月7日

8 暴露防止及び保護措置

設備対策	発塵を起こさぬ装置機械を使うか、局所排気装置を使用する。
管理濃度	設定なし。
許容濃度	日本産業衛生学会、ACGIH 共に、本品の設定はないが、粉塵対応として、下記の値を推奨する。
	日本産業衛生学会勧告値（1994年）第3種粉塵
吸入性粉塵	2 mg/m ³
総粉塵	8 mg/m ³
保護具	
呼吸器の保護具	防塵マスク
手の保護具	ゴム手袋
目の保護具	ゴーグル型眼鏡
皮膚・身体の保護具	長袖作業衣

9 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状態	固体
形状	粒状
色	灰白色
臭い	データなし
pH	データなし
物理的状態が変化する温度	
沸点	データなし
融点	データなし
引火点	データなし
発火点	データなし
爆発範囲	
下限	データなし
上限	データなし
かさ比重	約 1.0
溶解性 (水)	水に易溶
分解温度	データなし

10 安定性及び反応性

安定性	加熱するとアンモニアガス等の有害ガスを発生する。
反応性	特になし。
避けるべき条件	高温、多湿
混触危険物質	可燃性物質
危険有害な分解生成物	アンモニアガス、窒素酸化物等

11 有害性情報

製品安全データシート

整理番号 : jcam-5063
改定日 : 2018年8月7日

急性毒性（経口）	区分外 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 <リン酸二アンモニウム> ラット LD50 値 : 6,500g/kg <塩化カリウム> ラット LD50 値 : 2,600mg/kg (IPCS 1992) <硫酸アンモニウム> ラット LD50 値 : 4,250g/kg (SIDS 2004) <尿素> ラット LD50 値 : 14,300mg/kg (SIDS) 以上のデータに基づき区分外とした。
急性毒性（経皮）	分類できない データなし
急性毒性（吸入）	分類できない データなし
皮膚腐食性/刺激性	分類できない 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 <尿素> ヒトの試験では 7.5%で Slight irritation、30%で moderate との報告がある(48 時間)。 ICSC では皮膚に対し発赤と記載されている。 ウサギの試験では刺激性は認められていない。 上記の有害性情報があるが、JISZ7252:2014 の表 B. 4 の判定基準（皮膚刺激性の区分）を満たす証拠がなかったため、分類できないとした。
目に対する重篤な損傷/ 目刺激性	分類できない 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 <尿素> ICSC では眼に対し発赤と記載されている。 ウサギの試験では刺激性は認められていない。 上記の有害性情報があるが、JISZ7252:2014 の表 B. 8 の判定基準（可逆的な眼への影響に関する区分）を満たす証拠がなかったため、分類できないとした。
呼吸器感作性	分類できない データなし
皮膚感作性	分類できない データなし
生殖細胞変異原性	分類できない データなし
発がん性	分類できない データなし
生殖毒性	分類できない データなし

製品安全データシート

整理番号 : jcam-5063
改定日 : 2018年8月7日

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない	データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない	データなし
吸引性呼吸器有害性	分類できない	データなし
環境に対する有害性		
水生環境急性有害性	分類できない	データなし
水生環境慢性有害性	分類できない	データなし

1.2 環境影響情報

閉鎖性水域では水質の富栄養化をもたらすので、排水については「水質汚濁防止法」の排水基準を守ること。

1.3 廃棄上の注意

- 下水、河川等に直接流さない。
- 「廃掃法」にしたがって処理する。
- 燃やさない（不燃物であるが加熱すると有害ガスを発生する）。

1.4 輸送上の注意

国際規制	該当しない
国内規制	下記の法令に基づく規定の積載方法、容器等によって輸送する。 船舶安全法、航空法、港則法
輸送の特定の安全対策及び条件	1. 雨水等による水濡れ防止を行う。 2. 破袋、荷崩れ等を起こさぬよう適切な対策をとる。

1.5 適用法令

肥料取締法	指定配合肥料
消防法	該当しない
労働安全衛生法	粉じん則 粉じんが発生する屋内作業場は粉じん則が適用される。 粉じんを多量に吸入した場合、肺障害等の健康障害のおそれがあるため、作業環境測定を行うとともに、その結果に基づいたリスクアセスメントを行うこと。

1.6 その他の情報

製品安全データシート

整理番号 : jcam-5063
改定日 : 2018年8月7日

本安全データシート (SDS) は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂することができます。また、SDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたもので、製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

出典

- 1) <http://www.safe.nite.go.jp/ghs/list.html>
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 GHS 分類対象物質一覧 (H19.4.4現在)
- 2) Hazardous Substances Data Bank (HSDB) HP
- 3) Screening Information Data Set (SIDS) / UNEP

本SDSは、下記の情報を元に作成しました。

本製品については、下記にお問い合わせください。

会社名 ; ジェイカムアグリ株式会社
連絡先 ; 生産管理本部
住所 ; 東京都千代田区神田須田町2-6-6 ニッセイ神田須田町ビル
電話番号 ; 03-5297-8904
FAX番号 ; 03-5297-8908
緊急連絡先 ; 黒崎工場
電話番号 ; 093-643-2375